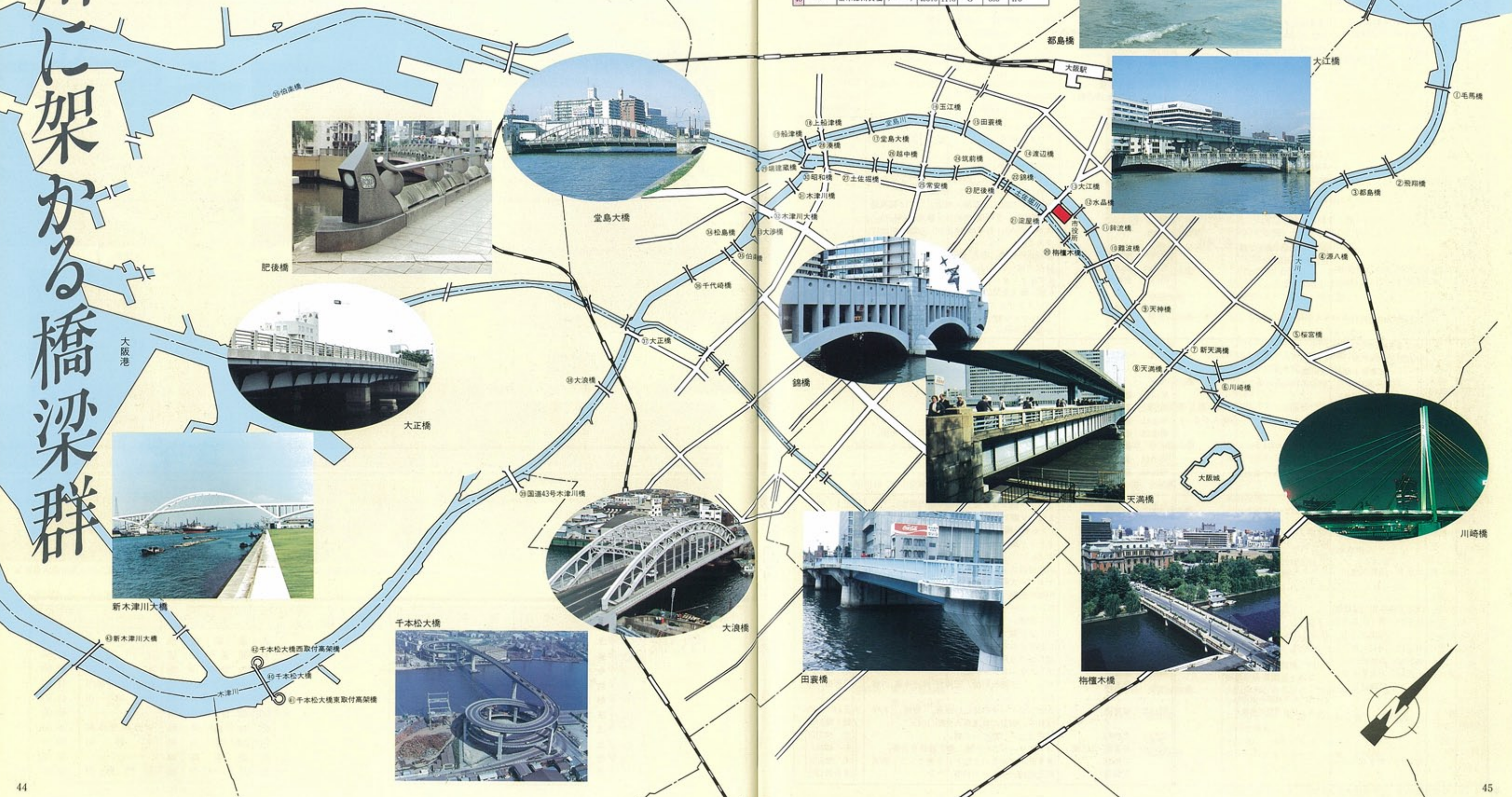
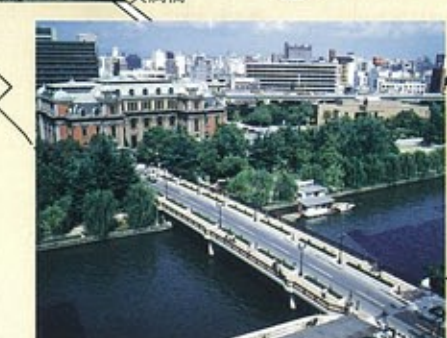


旧淀川に架かる橋梁群

河川名	橋名	形式	橋長(m)	幅員(m)	径間数	最大支間長	完成年	
1	大川	毛馬橋	合成桁	150.0	24.0	3	55	S35 S54桁組
2	"	飛翔橋	アーチ	237.0	4.0	5	104	S59
3	"	都島橋	鋼床版桁	145.0	26.0	4	43	S31 S54桁組
4	"	源八橋	"	201.2	11.0 44.5	6	48	S11 S54桁組
5	"	桜宮橋	アーチ	187.8	22.0	6	104	S5
6	"	川崎橋	斜張橋	129.2	3.0	2	88	S53
7	"	新天満橋 (大満堂旧橋)	ラーメン	162.3	13.0	3	61	S45
8	"	天満橋	鋼板桁	151.0	17.5	3	61	S10
9	堂島川 土佐堀川	天神橋	アーチ	210.7	22.0	5	62	S9
10	"	難波橋	合成桁	187.2	21.8	10	24	S50
11	堂島川	錦渡橋	鋼板桁	98.0	12.5	3	38	S4 S55桁組
12	"	水島橋 (堂島川可動橋)	アーチ	72.3	9.1	4	18	S4
13	"	大江橋	アーチ	81.5	36.5	4	30	S10
14	"	渡辺橋	鋼床版桁	79.0	29.0	4	29	S41

河川名	橋名	形式	橋長(m)	幅員(m)	径間数	最大支間長	完成年	
15	堂島川	田裏橋	鋼床版桁	82.3	14.7	3	30	S39
16	"	玉江橋	"	77.0 78.8	24.5	3	27	S4 S44桁組
17	"	堂島大橋	アーチ	75.8	22.6	3	55	S2
18	"	上船津橋	鋼板桁	78.0	34.7	3	30	S57
19	"	船津橋	鋼床版桁	76.5	24.0	3	30	S38
20	土佐堀川	栢榎木橋	"	86.3	15.0	5	23	S60
21	"	渡屋橋	アーチ	53.5	36.5	3	33	S10
22	"	錦橋 (土佐堀川可動橋)	"	55.1	10.5	2	18	S6
23	"	肥後橋	鋼床版桁	44.7	29.0	3	29	S41
24	"	筑前橋	鋼板桁	69.0	14.6	3	29	S7 S39桁上
25	"	常安橋	"	69.9 69.0	24.5	3	30	S4 S44桁組
26	"	越中橋	"	71.0	3.8	3	29	S39
27	"	土佐堀橋	"	58.4	22.0	3	33	S44
28	"	溝橋	"	84.5	34.7	3	36	S57

河川名	橋名	形式	橋長(m)	幅員(m)	径間数	最大支間長	完成年	
29	土佐堀川	瑞建蔵橋	鋼床版桁	92.0	24.0	5	18	S38
30	木津川	昭和橋	アーチ	82.8	25.5	2	66	S7
31	"	木津川橋	鋼床版桁	75.6	21.6	3	25	S41
32	"	木津川大橋	合成桁	119.0	42.5	5	28	S41・S44 S48
33	"	大沙橋	鋼板桁	66.8	11.0	3	25	S4 S20桁上
34	"	松島橋	"	69.4	11.0	3	29	S5
35	"	伯耆橋	"	65.0	23.0	3	31	S15
36	"	千代崎橋	"	64.3	12.8	3	24	S2 S31桁上
37	"	大正橋	合成桁	80.0	41.0	3	38	S44 S49桁組
38	"	大波橋	アーチ	81.5	19.4	1	80	S12
39	"	国道43号 木津川橋	鋼床版桁	769.7	34.3 38.3	19	96	S45
40	"	千本松大橋	鋼床版桁	323.5	9.8	3	150	S48
41	"	千本松大橋 東取付高架橋	鋼桁橋	452.4	12.3	12	38	S48
42	"	千本松大橋 西取付高架橋	"	"	"	"	"	S48
43	"	新木津川大橋	アーチ	495.0	11.3	3	305	H6



年表

時代	橋梁技術				代表的な橋梁		橋梁数
	区分	関連事項	構造型式	材料など	橋名	特記事項	
古代・中世	いにしへの橋の時代				弘仁3 猪甘津の橋架設 長柄橋 仁寿3 長柄橋廃絶 貞永1 渡辺橋橋供養 元弘2 } 正平2 } 渡辺橋付近で合戦 正平16 神崎の橋付近の戦	大阪の橋の始まり 「日本書紀」仁徳14年の条(812年) 歌枕や種々のエピソードを有する(853年) いにしへの橋 「日本後紀」「文徳実録」 「百鍊抄」 (1232年)武田信光架設 (1332年) } 楠木正成・正行の奮戦 「太平記」 (1347年) } (1361年)楠木正儀の活躍 「太平記」	
近世	伝統的木工技術の時代	(堀川の開削と架橋) 東横堀川(天正13) 西横堀川(慶長5以前) 道頓堀川(元和1) 長堀川(寛永2) (寛永の頃)公儀橋制度 定める (貞享1)河村瑞軒淀川 治水工事着工 (宝永1)大和川付替工 事着工	(上部工) 木桁 (下部工) 木杭、石積など	木材	天正13 大坂橋架設? 天正15頃 天満橋架設? 文禄3 天神橋 慶長9 高麗橋 元和1 この頃日本橋・戎橋 寛永2 この頃心斎橋 寛文12 新町橋 元禄11 安治川橋 元禄頃 大江橋、渡辺橋など 宝永1 大和橋	(1585年)大正14年 東横堀川で擬宝珠発見 (1587年頃)豊臣秀吉淀川に架橋(ルイス・フロイス「日本史」) (1594年)天神社、通行料をとる(社伝) (1604年)擬宝珠、大阪城天守閣に保存 (1615年)道頓堀開削により架橋 (1625年)岡田心斎による架設とされる (1672年)土橋の架設。「ひょうたん橋」ともい われた (1698年)安治川開削と沿岸開発に伴う架橋 堂島開発により架橋 (1704年)紀州街道	延宝年間 ・公儀橋12 ・町橋107 天明7年 ・公儀橋12 ・町橋143
明治時代前期(明治20年代)	外国技術・鉄橋の輸入の時代	(輸入鉄橋の架設) (洪水による災害復旧) 明治18 淀川大洪水 明治22 市制施行	(上部工) 木桁に加えて鉄製の板 桁、トラス、アーチの 出現。 (下部工) 従来の形式に加えて鉄 柱橋脚の出現。	木材・石材・レンガ・コンクリート・錬鉄・鋳鉄	明治3 高麗橋 明治5 新町橋 明治5 千代崎橋 明治6 心斎橋 明治6 安治川橋 明治19 難波橋 明治21 天満橋 明治21 天神橋	錬鉄橋、大阪初の鉄橋(日本で3番目)イギリスから輸入 鋳鉄アーチ橋 木製の可動橋 ドイツからの輸入、鉄製ボーストリングトラス橋(すずかけ橋として一部保存) その他の初期の主要輸入橋梁としては難波橋(明治8)、京町橋(明治9)、難波橋(明治9、北半分のみ)、長堀橋(明治10)、戎橋(明治11)がある。 施回式可動橋、別名「磁石橋」とも呼ばれた鉄柱木橋(南半分) ダブルインターセクション(ホイップルトラス)4連、最大支間52m(ドイツ製) ボーストリングトラス3連、ワーレントラス2連(ドイツ製)。支間66mは明治期の道路橋で最大。	明治15 196 ・地方税によるもの187 ・私費9 明治29 196
明治時代後期(明治30年代～明治末)	外国技術の消化の時代	(市電事業による永久橋化) 明治30 市域拡張 ＊ 市電第1期線(～36) 明治31 新淀川開削着工 明治38 市電第2期線(～明治43) 明治39 市電第3期線(～大正5) (新淀川への架橋) 明治43 新淀川開削工事完成	(上部工) 板桁橋が主流 ゲルバー桁橋の専入 (下部工) スクリューパイルの多用	鋼材の普及(輸入が多い)	明治34 難波橋 明治40 肥後橋 明治41 渡辺橋 明治42 心斎橋 ＊ 長柄橋 明治43 長堀橋 明治45 日本橋	桁橋(北半分架換) 桁橋 } 市電第2期線による架換 桁橋 } 石造アーチ橋。新しい都市空間造成の先駆。 ワーレン型ポニートラスおよび木橋 ゲルバー式鋼板桁橋 ＊	明治30 395
大正時代～昭和初期	国産技術の発展の時代	(市電事業による整備) 大正9 道路法施行 (都市計画事業による整備) 大正10 第1次都市計画事業決定 大正12 関東大震災 大正14 市域拡張 大正15 十大放射道路計画決定 昭和12 御堂筋完成	(上部工) 鋼板桁、ゲルバー式、鋼アーチ、鉄筋コンクリートアーチの多用 (下部工) 鉄筋コンクリート橋脚 木杭基礎、ウェル基礎 (近代都市橋梁の創造) (耐震・耐火構造の推進)	国産鋼材、鉄筋コンクリート、リベット継手	大正2 本町橋 大正4 難波橋 大正4 大正橋 大正9 岩崎橋 大正13 今橋 大正14 戎橋 昭和2 堂島大橋 昭和4 高麗橋 ＊ 鈴流橋 昭和5 桜宮橋 昭和9 天神橋 昭和10 淀屋橋・大江橋 ＊ 平野橋 ＊ 天満橋	2ヒンジ鋼アーチ橋。現役で市内最古。 2ヒンジ鋼アーチ橋。中之島公園造成と関連。(ライオン橋の誕生) 2ヒンジ鋼アーチ橋。当時の大アーチ(支間90.6m) 大阪初のコンクリートアーチ橋。 ゲルバー式鋼板桁橋。昭和に始まるゲルバー桁橋の盛期につながる。 コンクリートアーチ橋。アーチ曲線、高欄意匠に配慮。 2ヒンジ鋼アーチ橋。イタリアンロマネスクに影響された近代的意匠。第1次都市計画事業における初期の大橋梁。 コンクリートアーチ橋。 ゲルバー式鋼板桁橋。天神祭「鉦流神事」の舞台。 3ヒンジアーチの珍しい形式。「銀橋」とも呼ばれる。戦前の我国最大支間(104m) 軽快2ヒンジ鋼アーチ橋。 コンクリートアーチ橋。意匠設計を公募。 世界的に例がないと称された逆ランガー形式桁下曲線の美しさが特徴。	大正1 419 ・府管理28 ・市管理391 (鉄橋24) 土橋14 石橋24 木橋269 (混合橋17) 大正10 507 (鉄橋107) 土橋29 石橋18 木橋287 (混合橋68) 大正14 1629 (鉄橋179) 土橋210 石橋481 木橋639 (混合橋120)

時代	橋 梁 技 術				代 表 的 な 橋 梁		橋 梁 数	
	区分	関連事項	構造型式	材料など	橋 名	特 記 事 項		
昭和15年 ↓					昭和14 新淀川大橋 (下部のみ)	中斷により幻の吊橋となる。	昭和8 1368 (鉄 橋 332) コンクリート橋160 木 橋 478 石 橋 306 その他 92)	
	戦争および戦災復興の時代							
昭和25年 ↓ 昭和30年代中期	戦後の技術革新の時代	(高潮対策・橋梁整備事業) 昭和25 ジェーン台風 (上部工) 高潮対策事業の着手 昭和27 道路法の公布 昭和29 第1次道路整備5ヵ年計画 昭和30 市域拡張	(上部工) 合成桁、鋼床版桁、箱桁、格子桁、RC桁、PC桁。 (下部工) RC杭、RCウエル、ケーソン基礎。 (桁橋を中心とした形式の多様化、構造の軽量化など。解析、構造、工法の技術革新。)	RC、PC、鋼材の改良。溶接・高力ボルトの発達。	昭和26 鈴橋 昭和28 神崎橋 昭和30 新喜多大橋 昭和31 森之宮橋 昭和33 辰己橋 ◇ 太左衛門橋 ◇ 友淵橋 ◇ 大運橋 昭和35 新歌島橋 ◇ 毛馬橋 昭和37 十三バイパス阪急跨線橋	合成桁の実験橋。本邦初の合成桁橋。 新形式の格子合成桁を採用、全溶接橋。鋼床版桁の実験的施工。本市初の合成箱桁橋の格子構造採用。初期の連続合成桁橋 ◇ ゲルバー式合成桁橋。極端な斜角を有する格子桁橋。我国初の本格的連続合成桁橋(最大支間55m)プレストレスト単純合成桁橋。	昭和16 1290 (鉄 橋 382) コンクリート橋191 木 橋 562 石 橋 109 その他 46) 昭和26 1190 (鉄 橋 392) コンクリート橋178 木橋・ その他 620) 昭和30 1470 (鉄 橋 397) コンクリート橋387 木橋・ その他 686)	
		昭和36 第2室戸台風						
昭和30年代後期以降	新技術の定着と長大橋の時代	昭和37 阪神高速道路 公園設立	(上部工) 前記形式の発展・長大化 ニールセン形式・斜張橋の採用 (下部工) 前記の他RC場所打杭の多用 鋼管矢板式井筒基礎の採用 構造解析理論の進歩とコンピューターの導入設計・製作の自動化	RC、PC、鋼材、高張力鋼の発達	昭和38 端建蔵橋 ◇ 阪東大橋 ◇ 加島大橋	コンクリート床版から鋼床版に代えて嵩上げ。(最大支間53m) } 本格的鋼床版箱桁へ前進。(最大支間71m) } 戦前に完成していた吊橋の下部を利用。昭和48年拡張。大阪の玄関の大步道橋。本市における最初の曲線箱桁橋。2主桁構造の合成桁橋。2主桁構造の鋼床版桁で合理的構造の追求。鋼床版の全現場溶接継手の採用。本市初のトラストランガー橋。 最大支間115mと鋼床版箱桁の長大化へ前進。 プレストレスしない連続合成桁の確立。我国を代表する本格的斜張橋(最大支間216m)。ケーブルにPPWSを採用。 プレストレス連続合成桁では本市最大支間(76.5m) 在来橋の上に2階橋の建設。通称「天満重ね橋」。	昭和38 1468 (鉄 橋 393) コンクリート橋382 木橋・ その他 693)	
		昭和39 東京オリンピック開催			昭和39 新淀川大橋上流側 ◇ 梅田新歩道橋 ◇ 長柄バイパス		昭和40 江口橋 昭和41 新十三大橋 ◇ 新福崎橋	昭和43 1496 (鉄 橋 443) コンクリート橋399 木橋・ その他 654)
		昭和39 東海道新幹線開通			昭和44 市電全廃		昭和44 新淀川大橋下流側 ◇ 大正橋 昭和45 豊里大橋 ◇ 毛斯倫大橋 ◇ 新天満橋	昭和46 1010 (鉄 橋 422) コンクリート橋338 木橋・ その他 250)
		昭和45 日本万国博覧会開催			昭和48 オイルショック		昭和48 千本松大橋	昭和48 422 (鉄 橋 422) コンクリート橋338 木橋・ その他 250)
		昭和49 港大橋開通			昭和49 港大橋開通		昭和49 大和橋	昭和47 892 (鉄 橋 413) コンクリート橋290 木橋・ その他 189)
					昭和50 かもめ大橋		昭和50 かもめ大橋	昭和50 808 (鉄 橋 406) コンクリート橋293 木橋・ その他 109)
					昭和53 川崎橋 ◇ 神崎橋		昭和53 川崎橋 ◇ 神崎橋	昭和50 808 (鉄 橋 406) コンクリート橋293 木橋・ その他 109)
					昭和54 正平橋		昭和54 正平橋	昭和53 790 (鉄 橋 420) コンクリート橋278 木橋・ その他 92)
					昭和55 長柄橋		昭和55 長柄橋	昭和53 790 (鉄 橋 420) コンクリート橋278 木橋・ その他 92)
					昭和56 春風橋 ◇ 折鶴橋		昭和56 春風橋 ◇ 折鶴橋	昭和53 790 (鉄 橋 420) コンクリート橋278 木橋・ その他 92)
					昭和58 第9次道路整備5ヵ年計画(昭和58~62)		昭和58 大阪城新橋	昭和61 777 (鉄 橋 506) コンクリート橋257 木橋・ その他 14)
							昭和59 飛翔橋	昭和61 777 (鉄 橋 506) コンクリート橋257 木橋・ その他 14)
							昭和60 錦橋 ◇ 梅檀木橋	昭和61 777 (鉄 橋 506) コンクリート橋257 木橋・ その他 14)